

中小企業景気動向調査レポート

(令和3年10月～12月実績、令和4年1月～3月予想)

※調査期間 令和3年12月1日～7日

令和4年1月発行
西尾信用金庫
地域振興部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
361	254	64	193	85	55	1,012

<全体の景況>

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/9	-16.2	-13.4	-11.3	-6.4	-22.9	1.9	-12.9
R3/12	-13.8	-8.8	-10.9	1.2	-15.3	-1.8	-8.6
R4/3予想	-4.5	-8.8	-10.9	-2.3	-21.4	0.0	-5.5

当期売上額判断D.I.

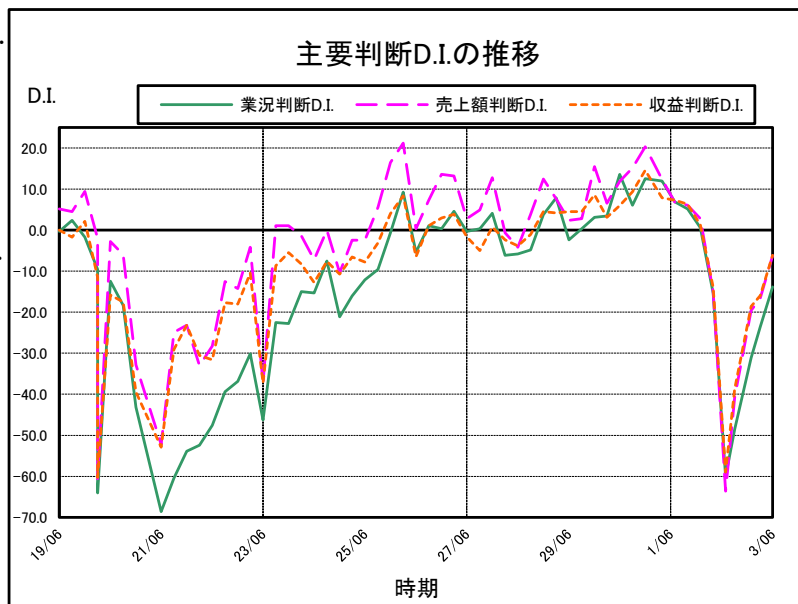
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/9	-11.6	0.9	4.8	-1.7	-16.9	-1.9	-6.3
R3/12	-2.8	4.0	11.1	1.8	4.7	0.0	1.1
R4/3予想	3.9	-2.4	6.3	5.3	1.2	5.5	2.7

当期収益判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/9	-13.8	2.6	6.5	-3.5	-14.3	-5.8	-7.2
R3/12	-5.3	3.6	4.8	-5.9	-3.6	-1.8	-2.0
R4/3予想	0.0	-2.8	3.2	-2.9	-1.2	3.6	-0.9

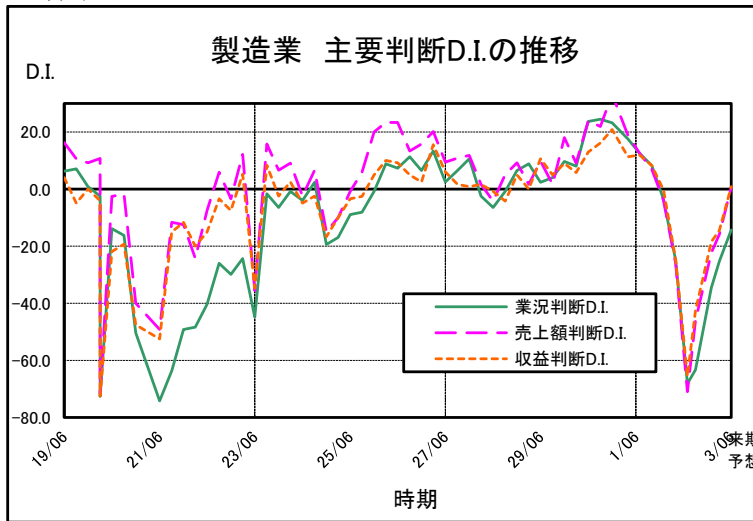
・令和3年12月期の当期業況判断D.I.は▲8.6(前期比+4.3)、当期売上額判断D.I.は1.1(+7.4)、当期収益判断D.I.▲2.0(同+5.2)といずれも前期より改善した。

・来期については、業況判断D.I.は▲5.5(当期比+3.1)、売上額判断D.I.は2.7(同+1.6)、収益判断D.I.は▲0.9(同+1.1)といずれも当期より改善する見通し。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

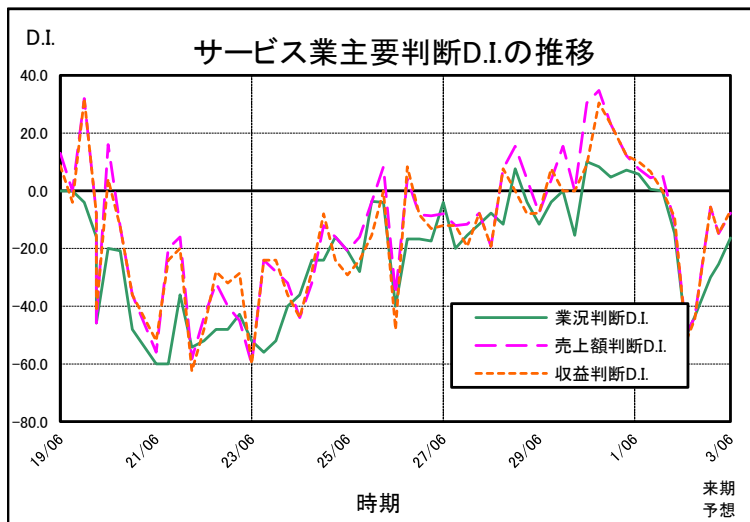
< 業種別 >



製造業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/9	-16.2	-11.6	-13.8
R3/12	-13.8	-2.8	-5.3
R4/3予想	-4.5	3.9	0.0

< 製造業 >

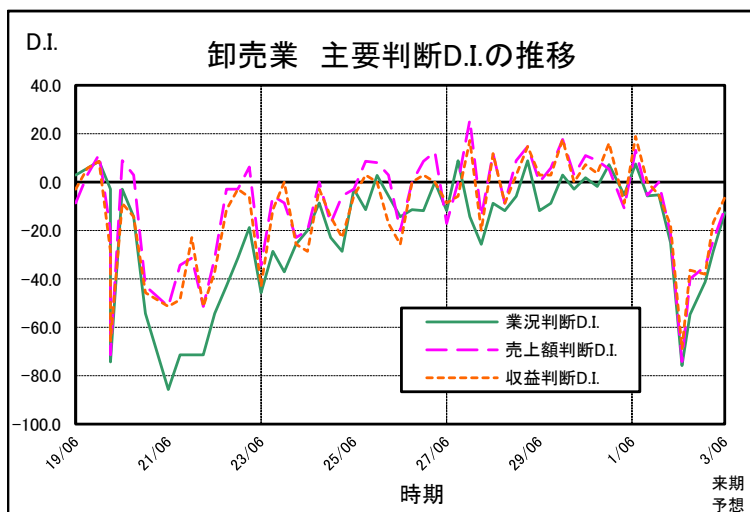
- ・当期業況判断D.I.は▲13.8(前期比+2.4)、当期売上額判断D.I.は▲2.8(同+8.8)、当期収益判断D.I.は▲5.3(同+8.5)といずれも前期より改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I. は▲4.5(当期比+9.3)、売上額判断D.I. は3.9(同+6.7)、収益判断D.I. は0(同+5.3)と、いずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策として“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く52.6%、“販路を広げる”を挙げる企業が50.1%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が12.2%であった。



サービス業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/9	-13.4	0.9	2.6
R3/12	-8.8	4.0	3.6
R4/3予想	-8.8	-2.4	-2.8

< サービス業 >

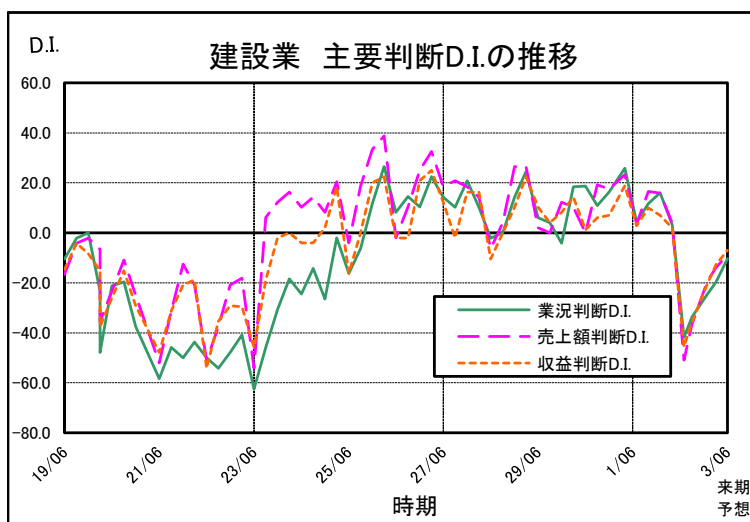
- ・当期業況判断D.I.は▲8.8(前期比+4.6)、当期売上額判断D.I.は4.0(同+3.1)、当期収益判断D.I.は3.6(同+1.0)いずれも前期より改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲8.8(当期比±0)、売上額判断D.I.は▲2.4(同-6.4)、収益判断D.I.は▲2.8(同-6.4)となった。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く40.5%、次いで“販路を広げる”を挙げる企業が37.3%、そして“宣伝・広告を強化する”が16.3%であった。



卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/9	-11.3	4.8	6.5
R3/12	-10.9	11.1	4.8
R4/3予想	-10.9	6.3	3.2

<卸売業>

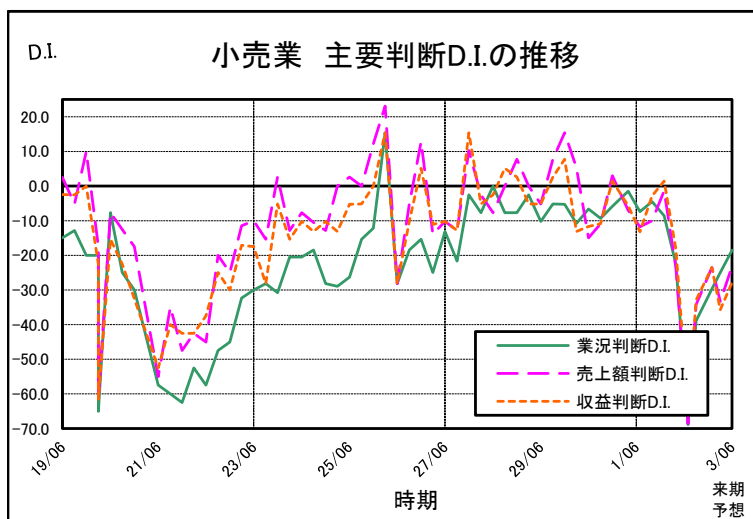
- ・当期業況判断D.I.は▲10.9(前期比+0.4)、当期売上額判断D.I.は11.1(同+6.3)、当期収益判断D.I.は4.8(同-1.7)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲10.9(±0)、売上額判断D.I.は6.3(同-4.8)、収益判断D.I.は3.2(同-1.6)となった。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く45.3%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が37.5%、そして“情報力を強化する”が12.5%であった。



建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/9	-6.4	-1.7	-3.5
R3/12	1.2	1.8	-5.9
R4/3予想	-2.3	5.3	-2.9

<建設業>

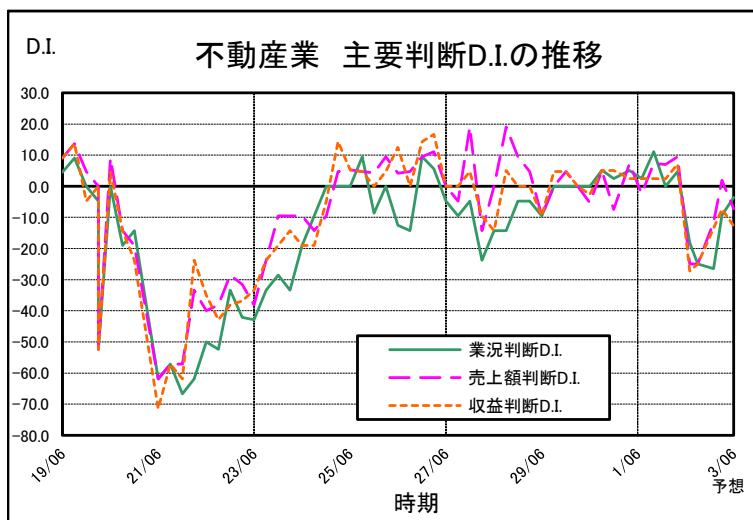
- ・当期業況判断D.I.は1.2(前期比+7.6)、当期売上額判断D.I.は1.8(同+3.5)、当期収益判断D.I.は▲5.9(同-2.4)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲2.3(当期比-3.5)、売上額判断D.I.は5.3(同+3.5)、収益判断D.I.は▲2.9(同+3.0)となった。
- ・当面の重点経営施策として“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く38.9%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が38.3%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が17.6%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/9	-22.9	-16.9	-14.3
R3/12	-15.3	4.7	-3.6
R4/3予想	-21.4	1.2	-1.2

<小売業>

- ・当期業況判断D.I.は▲15.3(前期比+7.6)、当期売上額判断D.I.は4.7(同+21.6)、当期収益判断D.I.は▲3.6(同+10.7)といずれも前期より改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲21.4(当期比-6.1)、売上額判断D.I.は1.2(同-3.5)、収益判断D.I.は▲1.2(同+2.4)となった。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く50.6%、次いで“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が34.1%、そして“品揃えを改善する”が23.5%であった。

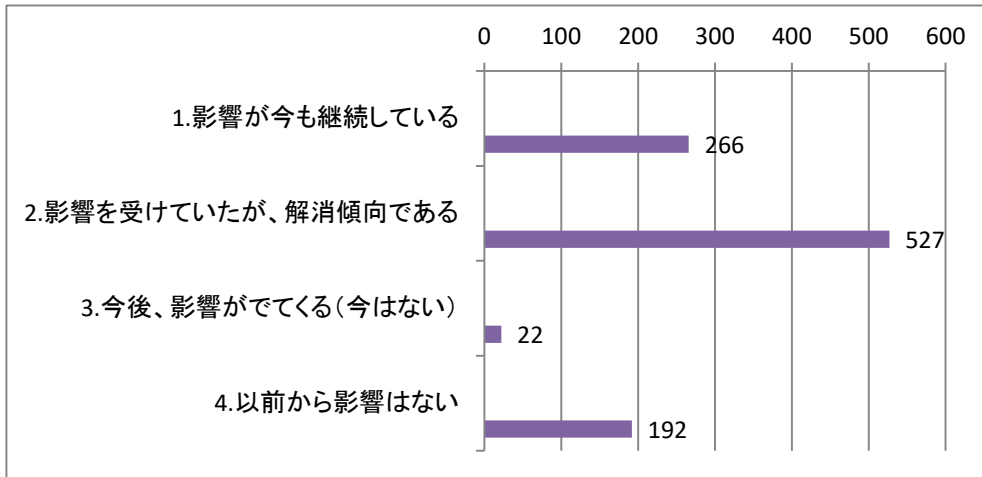


不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/9	1.9	-1.9	-5.8
R3/12	-1.8	0.0	-1.8
R4/3予想	0.0	5.5	3.6

<不動産業>

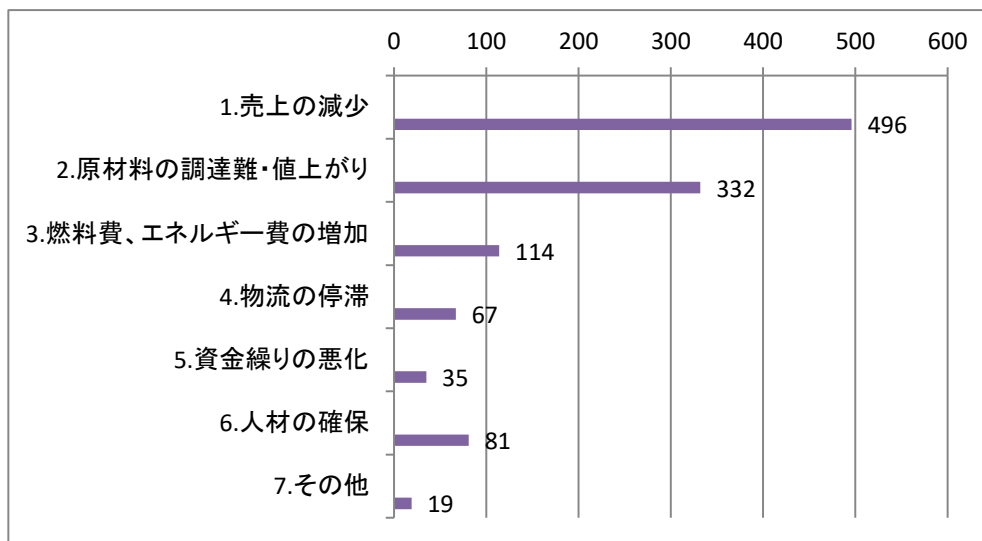
- ・当期業況判断D.I.は▲1.8(前期比-3.7)、当期売上額判断D.I.は0(同+1.9)、当期収益判断D.I.は▲1.8(同+4.0)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は0(当期比+1.8)、売上額判断D.I.は5.5(同+5.5)、収益判断D.I.は3.6(同+5.4)といずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く32.7%、次いで“情報力を強化する”を挙げる企業が27.3%、“経費を節減する”が25.5%であった。

問1. 現在、事業活動への新型コロナウイルスの影響はございますか。



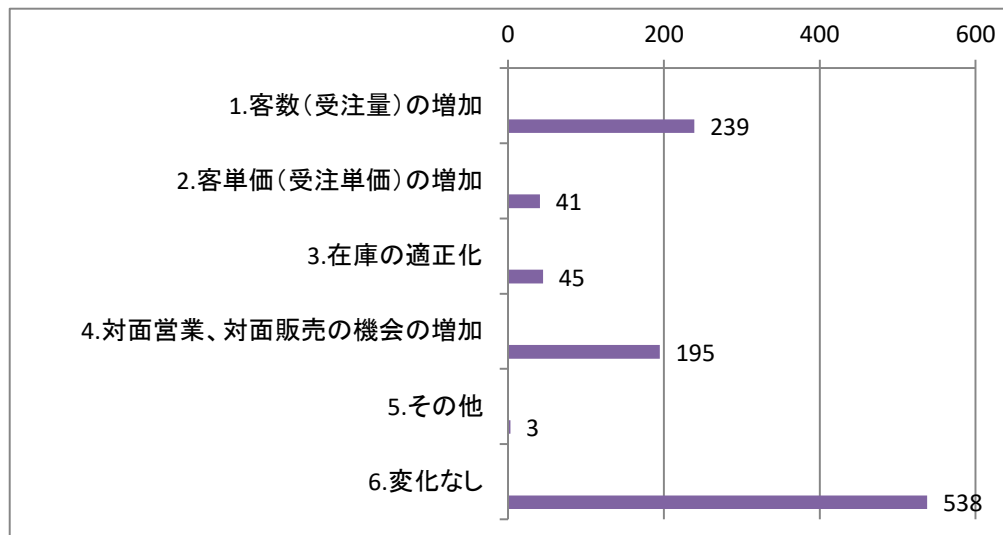
☛コロナの影響の有無について、「影響を受けていたが、解消傾向である」が最も多く、「影響が今も継続している」、「以前から影響はない」と続いた。

問2. 貴社の事業活動に与える影響について、以下よりお選びください。（複数回答可）



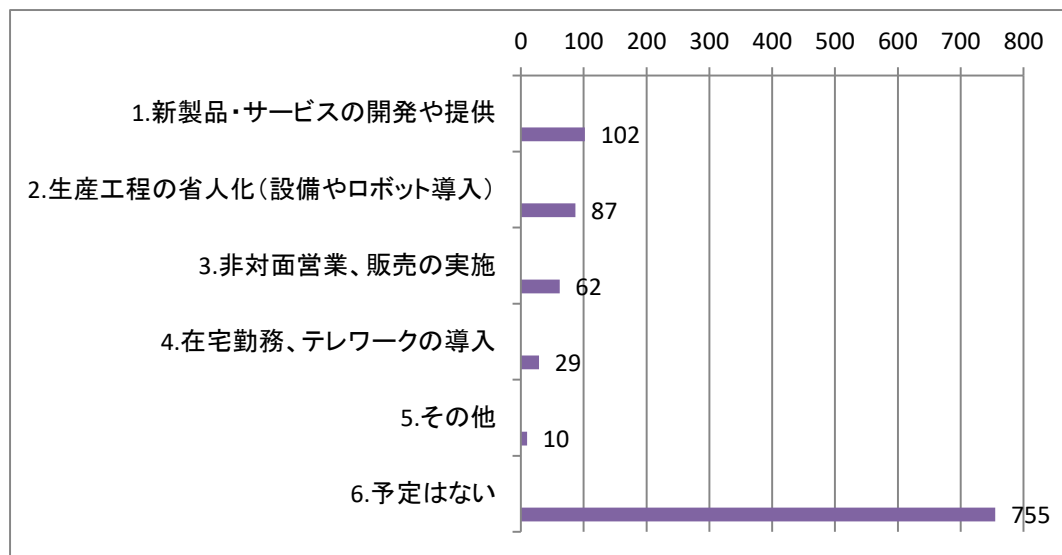
☛事業活動に与える影響について、「売上の減少」が最も多く、「原材料の調達難・値上がり」、「燃料費、エネルギー費の増加」と続いた。

問3. 緊急事態宣言の解除により、事業活動にどのような変化がありましたか。（複数回答可）



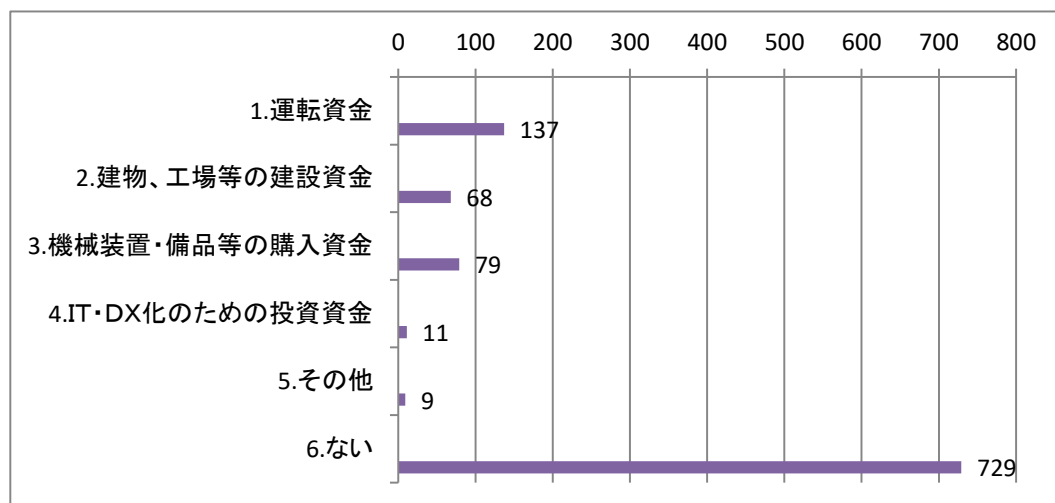
☛緊急事態宣言解除による変化については、「変化なし」が最も多く、「客数(受注量)の増加」、「対面営業、対面販売の機会の増加」と続いた。

問4. Withコロナ、ポストコロナに向けた取組を行う予定はありますか（複数回答可）



☛Withコロナ、ポストコロナに向けた取組について、「予定はない」が多くを占めた。

問5. 今後の事業展開にあたり、資金調達の予定はありますか。（複数回答可）



☛資金調達の予定について、「ない」が多くを占めた。